

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
高橋 千枝子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	MA (医療)	202 (中級科目)

授業のねらい (概要)	・この授業は、医療経営士の役割・心構えを理解し、医師や病院スタッフとのコミュニケーションの方法など身につけ、医療機関が様々な経営上の問題や困難に対し、広い視野と総合的な観点から、適切な判断と、迅速な行動をもって対処し得るために医療・経営の基礎知識を修得し、医療人としての資質を磨く。 ・医療経営の基本である「医療経営士資格認定試験3級」資格取得を目指します。		
授業計画	第1回 ・医療経営士とは 「医療経営史」 ・医療の起源 原始医療、古代の医療 ・病院の歴史 病院の始まり、キリスト教病院、日本の病院 予習 (時間) : シラバスでどのような科目なのか理解する。科書の指定箇所を自主学習し、これから学ぶ項目について事前チェック。(120) 復習 (時間) : 授業の中で仕事の原点である医療の歴史を理解し、仕事をしていくための再確認をすること。(120) 第2回 「医療経営史」 ・病院施設の変遷 戦後の医療行政史と病院施設、病院の成長と変化、看護と病棟可 感染管理と施設環境、病院経営と施設整備 ・戦後から現代までの医療経営史 終戦から現在まで 予習 (時間) : 教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ (120) 復習 (時間) : 授業で行った医療経営史を理解し、戦後から現代までの医療経営の歴史について再確認すること。(120) 第3回 「医療経営史」 ・戦後から現代までの医療経営史 医療保険制度の歩み、介護保険制度、基準看護制度、医療の情報化と画像診断機器の発達、健康診断・予防接種の歩み、先進医療と再生医療、医療の産業化と国際化 予習 (時間) : 教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ (120) 復習 (時間) : 授業で行った医療経営史を理解し、戦後から現代までの医療経営の歴史について再確認すること。(120) 第4回 「日本の医療政策と地域医療システム」 ・医療保険制度の仕組み 国民皆保険の基本構造、患者負担・診療報酬・薬価制度の仕組み ・医療提供体制の仕組み 医師不足問題の現状、医療におけるIT化の進展など ・最近の医療政策をめぐる動向と今後の展望 後発医薬品の使用促進、チーム医療の推進と多職種連携 予習 (時間) : 教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ (120) 復習 (時間) : 授業で行った医療保険制度の仕組みを理解し、医療提供体制の仕組みなどを再確認すること。(120) 第5回 「日本の医療政策と地域医療システム」 ・医療保険制度の仕組み 国民皆保険の基本構造、患者負担・診療報酬・薬価制度の仕組み ・医療提供体制の仕組み 医師不足問題の現状、医療におけるIT化の進展など ・最近の医療政策をめぐる動向と今後の展望 後発医薬品の使用促進、チーム医療の推進と多職種連携		

第6回	予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療保険制度の仕組みを理解し、医療提供体制の仕組みなどを再確認すること。（120） 「日本の医療政策と地域医療システム」 ・医療保険制度の仕組み 国民皆保険の基本構造、患者負担・診療報酬・薬価制度の仕組み ・医療提供体制の仕組み 医師不足問題の現状、医療におけるIT化の進展など ・最近の医療政策をめぐる動向と今後の展望 後発医薬品の使用促進、チーム医療の推進と多職種連携 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療保険制度の仕組みやチーム医療などを理解し、日本の医療政策の仕組みなどを再確認すること。（120）
第7回	実務演習 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で扱った項目の再確認を行い、理解度をチェック。次の授業へ向けての勉強。（120）
第8回	「日本の医療関連法規」 ・医療関連法規の全体像 医療関連法規とは、主な医療関連法規1・2 ・医療法 医療法とはどんな法律か、医療情報の提供と医療の安全確保 病院・診療所等の開設・管理、医療提供体制の確保、医療法人 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療関連法規を理解し、医療法規・医療法などの法規について再確認すること。（120）
第9回	「日本の医療関連法規」 ・医療関連法規の全体像 医療関連法規とは、主な医療関連法規1・2 ・医療法 医療法とはどんな法律か、医療情報の提供と医療の安全確保 病院・診療所等の開設・管理、医療提供体制の確保、医療法人 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療関連法規を理解し、医療法規・医療法などの法規について再確認すること。（120）
第10回	「日本の医療関連法規」 ・医療従事者に関する法規 医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法 ・医療保険制度に関する法規 医療保険制度の概要、健康保険法、国民健康保険法、介護保険法 ・広義の医療関連法規 病院・診療所等と患者との関係、病院・職員との関係、社会との関係に関する法規 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療関連法規を理解し、医療法規・医師法・薬剤師法などの法規について再確認すること。（120）
第11回	「日本の医療関連法規」 ・医療従事者に関する法規 医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法 ・医療保険制度に関する法規 医療保険制度の概要、健康保険法、国民健康保険法、介護保険法 ・広義の医療関連法規 病院・診療所等と患者との関係、病院・職員との関係、社会との関係に関する法規 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った医療関連法規を理解し、医療法規・医師法・薬剤師法などの法規について再確認すること。（120）
第12回	「病院の仕組み／各種団体、学会の成り立ち」

	・病院の基礎知識 病院の定義、医療従事者の種類と資格、診療報酬、医療と法律 ・病院の機能 医療機関の機能分化と連携、診察と治療の流れ、病院の主な機能 ・病院の組織 病院組織の特徴、診療部門、看護部門、その他メディカル部門 管理部門 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った病院の仕組みを理解し、各種団体、病院の定義、病院の機能などについて再確認すること。（120） 第13回 「病院の仕組み／各種団体、学会の成り立ち」 ・病院の基礎知識 病院の定義、医療従事者の種類と資格、診療報酬、医療と法律 ・病院の機能 医療機関の機能分化と連携、診察と治療の流れ、病院の主な機能 ・病院の組織 病院組織の特徴、診療部門、看護部門、その他メディカル部門 管理部門 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った病院の仕組みを理解し、各種団体、病院の組織、診療報酬などについて再確認すること。（120） 第14回 「病院の仕組み／各種団体、学会の成り立ち」 ・病院内の委員会 委員会の意義と役割、様々な委員会 ・病院関連施設 介護施設・事業所、保険薬局 ・医療関連官公庁・医療関連団体 病院と官公庁との役割、国、地方公共団体の組織、医療関連団体 ・学会組織・医療関連ビジネス 学会について、医療関連ビジネスについて（業務代行など） 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で行った病院の仕組みを理解し、各種団体、学会の成り立ち、医療関連ビジネスなどについて再確認すること。（120） 第15回 実務演習 予習（時間）：教科書の指定箇所を自主学習し、今まで学んだ項目について事前チェック。理解できない箇所のリストアップ（120） 復習（時間）：授業で扱った項目の再確認を行い、理解度をチェック。次の授業へ向けての勉強。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	1. 医療経営の基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に着けている。 2. 実践力を身に付け、医療の経営に、組織において協働できる能力を身につけている。 【身に付くスキル】 課題解決力・思考力
到達目標	医療経営士としての能力を身につけ、さらに「医療経営士資格認定試験3級」を受けることが条件 となります。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正などを記入の上返却します。
履修上の注意	①医療機関の経営に必要な知識とコミュニケーション能力を身につけるための授業をしていくので、真剣に積極的に習得し、自主学習も必要となります。 ②遅刻、おしゃべり、飲食、携帯電話厳禁 ③医療コース以外の学生は医学薬学論、病院管理論を受講しておくこと。 ③教室は全講義が座席指定とする。 ④「医療経営士資格認定試験3級」の資格試験を受けることが条件となります。 この資格試験を目指すには、医療経営士Ⅰ・Ⅱを受けることが望ましい。 ⑤「医療経営士資格認定試験3級」の受験料は8640円必要です。 ⑥医療コース以外の学生は医学薬学論、病院管理論を受講しておくこと
成績評価の方法・基準	学期末に行う定期試験（40%）学修意欲（30%）課題提出（30%）にて評価します。
教科書	教科書については、別途指示致します。
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知する）